

M. N.（社会システム学科・2年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

大学受験の際、英語の点数が思うように取れず志望校に落ち、自分の中で英語に対する苦手意識が大変強かったのですが、1年の春学期に留学英語基礎講座を受講した際、周りの受講生の英語に対する意識の高さを実感し、私も英語力を上げたいと思いこのプログラムに出願しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

出発直前に受ける TOEIC のために、単語帳やスーパー英語を利用して自主学習に取り組みました。また、パスポートを必要とする書類を提出する際、私はまだ発行すらしておらず、また下宿で本籍も地元だったので、大変手間取りながら発行しました。

③ 現地到着後

入国手続きは予想以上に早く終わり、入国審査官の方もフレンドリーに話しかけてくださったので、緊張が和らぎました。また空港からホームステイ先まで語学学校の先生が送迎してくださいました。オリエンテーションでは、クラス分けのテストや授業、アクティビティ、ホームステイの説明が行われました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

校舎はあまり大きくはありませんが、清潔感があり、自然にあふれた場所でした。先生方、スタッフの方々はいつもフレンドリーで、すれ違うたびに話しかけてくださるようなとても居心地のいい環境でした。また週1回は無料でチュータリングが受けられるのですが、それ以外の時でも質問やエッセイの添削をしてもらうこともできます。

◆ コミュニティサービス

コミュニティサービスでは、ホステルにボランティアに行きました。ホステルでさまざまな国の人とコミュニケーションを英語で行ったことは、英語学習へのモチベーションにつながりました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

初めのうちは学校主催のアクティビティに参加していましたが、慣れてきたら自分で計画して旅行やイベントに参加しました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先では、韓国人の留学生と滞在しました。彼女は英語が大変流暢で、ホストファミリーと彼女が仲を深めていく一方、私は上手くコミュニケーションがとれず、ホストファミリーとのすれ違いが生まれてしまうことが多々ありました。家から学校は20分くらいで、バス停から5分くらいの場所に家があったので大変便利でした。

食事は、週3回ほどお米を炊いてもらえた上に、徒歩10分くらいのところにお寿司屋さ

んがあったので、日本食が恋しくなることはあまりありませんでした。しかし、野菜があまり食卓に上がらなかったで、野菜が恋しくなる時はありました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

Spring term と Summer term の間に 1 ヶ月ほど休暇がありましたが、半分はサービスマニシング・コミュニティサービスの授業がありました。残りの 2 週間で友人とニューヨーク、シアトル旅行をしました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も印象に残っていること

ボランティアが一番心に残った思い出です。学校とは違う環境で、また話すスピードも速いお客さんとコミュニケーションをとることは容易ではありませんでしたが、この体験のおかげで、どのように話せばいいのかと考える時間が短くなったように思えます。また、休みの期間にニューヨーク、シアトル、サンフランシスコへ旅行に行きました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

私はスピーキングが全くできなかったで、最初のうちはクラスメイトに笑われて大変つらかったです。また、ホストとの衝突も多く、上手く言葉を表現できず、あまりいい関係を築けなかったというのもつらかったですし、心残りです。

③ 文化、習慣などの違いで驚いたこと

あまり驚いたことはなかったのですが、靴を脱がない生活には最後まで慣れることができませんでした。また、どんな小さなことでも、会話を広げられる能力を持つ人が大変多かったです。

III. 留学志望者へのアドバイス

① 日本から持って行って特に役立つもの

ノートパソコン

② 語学力の向上、留学の成果、留学前と後で変わったこと

TOEIC は 100 点上がりました。思ったより伸びていなかったで、これからの英語学習でもっと伸ばせるように頑張りたいです。留学を通じて、自分の意見を伝えること、時には妥協すること、人を受け入れることなどこれから生きていくうえで精神的に大切なことを学ぶことができたのではないかと思います。

③ これから留学を考えている方にアドバイス

この留学は 1・2 年生のうちでしか行くことができないプログラムです。私はこの留学を通じて、かけがえのない友人ができ、忘れることのない思い出ができました。このプログラムは単位も取得できるし、英語能力に不安を持っている人にとっては大変良いものだと思います。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

この留学で、英語能力は一種のツールなのだと気づきました。自己表現、理解能力があつてこそ、英語力が上手く発揮できるのだと思います。そのために、これからの2年間は、より学問的な知識を身につけ、それを英語で表現できるように学習していきたいです。将来は、ものづくりに携わる仕事に就くことが希望で、また英語を使う機会があれば嬉しいです。この留学をサポートしてくださった国際課の方々、ありがとうございました。

V. 写真



校舎の写真です



コミュニティーサービス先のホステルです